



問

介護用抱っこひもを給付の対象に!!

3歳から小学校卒業までくらいの歩行困難な子どもの外出や、車から車いすなどへのちょっとした移動の補助、屋内や入浴時などの移動補助、災害時の避難などに使える用具として、介護用抱っこひもがある。

津市が実施している重度障害者等日常生活用具給付事業の概要と、介護用抱っこひもを同事業の給付対象にできないのかを問う。

答

給付対象とすることについては総合的に検討していく

津市重度障害者等日常生活用具給付事業は、障がい者ならびに障がい児およびその保護者の日常生活上の便宜を図るため、障がい者等に対して必要な日常生活用具を給付するもので、利用者および配偶者（児童の場合はその世帯の他の世帯員）の所得状況に応じて利用者負担は異なる。

介護用抱っこひもについては、保護者の身体的負担を軽減させると同時に、利用者本人の成長に応じて複数の抱き方ができるなど快適性も維持できるとされているが、給付対象にするかについては、他の自治体の取り組み状況や他の障がい福祉サービスの状況を踏まえて総合的に検討していく。

その他の質疑・質問

- 津市地域福祉計画について
 - 計画の存在は
 - 高齢者福祉計画および障がい者計画との違いは
 - 福祉センターおよび隣保館への今後の支援は
- 熱中症対策について
 - 児童に対する対策について
 - クーリングシェルターについて

福祉センター、隣保館への支援を



問

津市出会い応援事業の廃止を

津市出会い応援事業では、平成27年度から少子化対策の取り組みとして婚活イベントやセミナーなどを行っている。しかし、事業開始から10年間、イベント後の成婚数、出生数を把握できていないことに加え、多様性の時代に異性との結婚を前提としていること、若年層が望むのは出会いの機会ではなく賃金の上昇と考えることなどの理由から本事業の廃止を求めるがどうか。

答

市民の期待に応えるささやかな事業と考えている

津市出会い応援事業は、少子化対策の一環として国の交付金を活用して実施している。さまざまな価値観がある中で異性間で結婚して、家庭を築いて、子育てをしていくということを望む方への出会いのきっかけづくりであり、行政が婚活イベントを主催することで安心して参加できるという方がいることからこれまで実施してきたものである。この事業に関し、さまざまな意見があることは十分承知しているが、だから廃止するというものでもなく、このような事業に期待してくれる方がいて、その期待にお応えしている、ささやかな事業であると考えている。

その他の質疑・質問

- 公立保育施設主食提供全園実施について
 - 主食提供開始に当たり、保護者への周知は
 - 業務増を受けて保育士等の負担をどう減らすか
- 公共施設のトイレに生理用品の常備
 - 社協との連携のみでニーズを満たせるのか
 - ジェンダーギャップ解消の観点から設置する考えはないのか

伊賀市役所の女性トイレに試行的に設置されている生理用品

